

## 第10期 第2回小平市農のあるまちづくり推進会議要録

- 1 開催日時 令和6年度7月8日（月）午後3時00分～午後5時00分
- 2 場 所 小平市役所 6階 601会議室
- 3 出席者 委員：出席10名、欠席2名  
事務局：出席4名
- 4 内 容
  - (1) 開会挨拶  
会長による挨拶
  - (2) 第1回会議の検討内容について  
第1回の協議内容について事務局から報告
  - (3) 今後の活動の方向性の決定と課題整理について  
→協議内容については下記に記載する
  - (4) その他

以下、協議内容

### 【今後の活動の方向性の決定と課題整理について】

事務局より、前回の会議の検討内容について報告をした。このことを踏まえて、広報をテーマとして、広報の仕方、方法などについて協議を行った。また、事務局より、小平市の農業振興の特色として、学校給食への地場産農産物の導入率が高いことや、全公立小学校で学童農園を実施していることなどについて説明した。

### 【小平農業の取り組みに関する意見】

- ・ 小平市では、市役所内の食堂にて期間限定で地場産農産物を使ったメニューを提供していたり、全校で学童農園を実施していたりするが、そういった事業が市民に市の取り組みとして届いていないのではないだろうか。
- ・ 小学生の収穫体験を受け入れると、収穫体験の時に子どもたちに説明をしたことが、子どもたちを通し親へ伝わり、親子で関心を持って後日直売所に来てくれることがあり、子どもをターゲットにすることで、親世代や祖父母世代に農業への関心が広がると思う。
- ・ 小平市の取り組みを広報するために、マスメディアによる周知は試みているものの、一般紙にはなかなか取り上げてもらえないのが現状である。ホームページで周知はしているが、更新の頻度が低いなどの改善が必要だと思う。一方、子どもから親へといった関心の広がりや学童農園をとおして出来ていると思う。SNS等を活用した広報については、市として改善の余地がある。
- ・ PRや広報の方法に関しては、「〇〇×〇〇」という掛け算での広報が効果的であると思う。例えば、津田梅子氏と何かを掛け算するといった広報も良いと思う。
- ・ 近年のアニメブームを活かし、市内の地場産農産物を使ったメニューがある飲食店に、農業に関するマンガ・冊子を置くことができれば、消費者に対して小平市の農業が広く伝わると思う。

- ・ 毎年、農家・栄養士・JA等で、学校給食に納入する野菜の基準を話し合う「目合わせ会」を実施しており、その際に教育委員会で作成した調理の現場を紹介する動画が披露された。当動画で、学校給食の調理現場は限られた時間の中で、児童全員分の給食を調理しており、現場の苦勞を知ることができた。また、今までは、JA・農家・栄養士の間で学校への納品の基準について認識の違いが見られたが、その動画を観て、より栄養士さんが野菜の規格の要望をする意味が分かるようになった。立場によって考え方は様々ではあるが、それぞれの状況がお互いに理解できるような広報ができると良いと思う。
- ・ 学校給食は給食調理の現場も大変であるが、配送の現場もかなり苦勞されている。学校への納入は時間の制約が厳しく、限られた時間の中で各小学校に農産物を届けることができるのはJAのおかげである。農家からJAへの納品、JAから学校への配送、学校での調理と全ての流れを一つのストーリーとして動画を作成し、相互の苦勞さが伝わる映像を見せるのはとても良いことだと思う。
- ・ 武蔵野美術大学など市内の大学と連携した事業を実施し、大学生を巻き込むことで、学生が将来小平市に住んでくれたり、より小平市の飲食店を利用してくれたらといった効果が考えられる。

#### 【これからの広報の仕方、方法等に関する意見】

- ・ 広報において、オープンガーデンマップや直売所マップなどはとても良いと思う。特にオープンガーデンマップは、市外の方もこの冊子を見て、小平市のオープンガーデンを見に行くと聞いたことがある。農家の位置がわかるマップも良いと思う。
- ・ 農産物の安全性について、直売所に買い物に来た人にポップ広告などで広報するのも良いと思う。
- ・ 畑からまっしぐらのシールやのぼり旗を見かけるが、今一つ活用されていない気がする。畑からまっしぐらマークの意味を市民の方に簡単に伝えられる何かがあると良いのではないだろうか。
- ・ 小平産の農産物について広報するにあたり、どういう媒体であればどういった対象の方に伝わるのか、また、その場合どういった効果があるのかということを検討する必要がある。
- ・ 農業に関するイベントがあっても、親子を対象にしたものがほとんどである。親子や子供だけではなく、広い世代が参加できるイベントを実施して欲しい。

#### 5 次回開催（第3回）

令和6年10月22日（火）午後3時00分から